

学校教育目標	「自分を高めつつ、仲間とかかわり、互いに認め合える子」 知：課題解決に向け、主体的に学習する子を育てます。 徳：自分も友だちも大切に、感謝する気持ちをもてる子を育てます。 体：自分や他者の生命を大切に、自らの健やかな体をつくる子を育てます。 公：地域を愛し、小さなことでも社会のためにと考えて行動する子を育てます。 開：歴史や伝統がある二俣川や横浜、日本のことを尊重しながら、国際的視野をもてる子を育てます。				
	創立 150 周年	学校長 泉 太郎	副校長 和田 恭子	2 学期制	一般学級：19 個別支援学級：4
学校概要	児童生徒数： 605 人 主な関係校： 万騎が原中学校、万騎が原小学校、南本宿小学校、さちが丘小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	万騎が原中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈言語能力〉 〈問題発見・解決能力〉	万騎が原中学校 二俣川小学校 万騎が原小学校 南本宿小学校 さちが丘小学校	主体的に行動し、自ら学び、互いに高めあうことのできる子ども ・万騎が原中学校に入学するまでに育てたい「自分づくりに関する力」の資質・能力を共有していく。 ・「自分づくりに関する力」の中の資質・能力が育成できるよう、小中学校合同の授業・研究会や本校重点研の中で手立て等を検討・実践していく。

中期取組目標	「笑顔いっぱい 友達いっぱい」の学校にします。 ○安心して学べる環境をつくり、自己有用感をもてるようにします。 ○豊かな心で関わり、考え議論する子どもを育てます。 ○主体的・対話的で深い学びになるように、誰もが「わかる」「できる」が実感できる授業をつくります。 ○学びの連続性を意識した自分づくり教育を進めます。 ○保護者や地域学校協働本部と連携して、パートナーとして子どもの育成にあたります。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 個に応じた指導	授業改善：基礎基本の定着を図り、分かる楽しい授業作りを進め、どの児童も楽しんで参加できる主体的・対話的な授業作りを実践する。 個に応じた指導：個に応じた問題解決の支援を行う。
担当 学年推進委員会・学習評価	
徳 道徳教育	①行事等では、個々のめあてを決め、掲示することで、児童が自分の役割を意識して活動できようとし、それに合った具体的な手だてを講じていく。 ②道徳の時間に、日常の生活の経験を振り返ったり、学習の総合化を図ったりすることで、友達と協力して互いの良さを認め合う機会を増やす。
担当 道徳部	
体 健康教育	①体育の授業・運動委員会主催の体力アップ月間等を通して、日常的に体力づくりに取り組めるような啓発を行う。 ②保健の授業・学校保健委員会の取組、食育を通して、健康的な生活への意識づけを行う。
担当 体育部・食育部	
公開 自分づくり教育	①生活科・「横浜の時間」を中心に、身近な人や地域の人と関わりながら体験的・課題解決的な活動に取り組み、地域社会の一員として主体的に生きようとする児童の育成をめざす。 ②なかよし活動を通して、異学年と交流するなかで、自分の役割に気付いたり、互いの良さを認め合ったりし、自己有用感を高めるようにする。
担当 生活・総合部・特活部	
いじめへの対応	①月1回の定期開催の他に、未然防止と実態把握を確実にを行うために、年数回のアンケートを適切な時期にとり、日々の情報交換を密にして、早期発見、対応を目指し、積極的に支援検討会を開く。また、いじめ防止に向けた目標等を協議し活用していく。 ②いじめ防止研修を実施して、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、いじめ防止を意識して意
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①キャリアステージに応じた研究・研修を計画、実施し、学び続ける姿勢を大切にする。 ②仕事の効率化を図る業務改善の見直しと改善に取り組む。チーム力を生かした学年・学校運営を充実させ、教育効果を上げながらも働き方改革を進める。
担当 教務部・メンター	
特別支援教育	①特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育部会を定期的に開催し、情報共有を進める。 ②特別支援教育研修を実施して、全教職員の特別支援に対するアンテナを高くするとともに、支援を要する児童への効果的なアプローチを継続して行う。
担当 特別支援教育委員会	
児童指導	①「ルール＆マナーブック」を見直したうえで、全職員で内容の共通理解を図り、指導にあたり、各学級でも生活目標の取組に合わせて子どもと一緒に確認する。また必要に応じて確認する。 ②年間行事をもとにめあてを精選し、各学級で子どもたちが自分たちの学校生活を見直せる機会を設ける。
担当 児童指導部	
地域学校協働活動	①コロナ禍の中でも様々なツールを活用して学校の様子を発信するとともに、地域との連携も行っていく。また、学校運営協議会との連携も模索していく。 ②地域やその他の人との関わり方を工夫し、自分らしい生き方やあこがれる生き方について考えることができる教育活動を実践する。
担当 地域連携部	
a15	b10
担当	